

指定管理業務点検・評価シート（令和7年度業務）

令和8年 7月 28日

施設名	米子コンベンションセンター	所在地	米子市末広町294
施設所管課名	文化政策課	連絡先	(0857) 26-7839
指定管理者名	公益財団法人とっとりコンベンションビューロー	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

1 施設の概要

設置目的	国内外との学術、情報、技術、文化等の交流を促進し、地域の経済の発展と文化の振興を図る。
設置年月日	平成10年4月29日
施設内容	・敷地面積：17,661㎡ ・建築面積：7,923㎡ ・延床面積：18,595㎡ ・施設内容：多目的ホール1（2,004席）、小ホール1（300席）、国際会議場1（360席）＝米子市施設、会議室8他
利用料金	別紙「料金表」のとおり
開館時間	・開館時間：午前9時～午後10時
休館日	・休館日：12月29日～翌年1月3日

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	1 施設設備の保守管理、修繕 2 施設の保安警備、清掃等 3 管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 4 その他管理施設の管理に必要な業務（利用受付・案内、付属設備・備品の貸し出し、利用指導又は操作、利用者へのサービス提供、施設の利用促進） など
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員（常勤職員）：19人、非常勤職員：2人〔計21人〕 令和8年3月												
	館長1 ― 副館長1 ― (総務課長) ― 総務課主幹1 副館長兼務 ― リーダー【施設管理担当】1 ― スタッフ1 技師1 ― リーダー【施設利用担当】1 ― サブリーダー1 ― スタッフ5 主幹1、主事2、非常勤2 ― 専任リーダー【IT業務効率担当】1 ― リーダー【舞台技術担当】1 ― スタッフ7 主幹5、技師2 ― 【企画営業】(スタッフ) 兼務2												

4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	7年度	15,573	19,812	22,783	24,338	29,349	29,001	89,384	37,237	13,757	12,500	25,917	22,552	342,203
	6年度	20,831	12,502	26,194	14,817	14,922	30,436	111,038	19,087	11,106	12,099	19,445	33,165	325,642
	増減	△ 5,258	7,310	△ 3,411	9,521	14,427	△ 1,435	△ 21,654	18,150	2,651	401	6,472	△ 10,613	16,561
利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	7年度	6,412	7,720	12,794	9,464	16,677	11,294	13,556	9,428	7,803	4,398	10,801	10,970	121,317
	6年度	19,180	6,531	8,405	7,272	8,417	8,716	13,436	7,327	5,012	3,439	4,338	9,574	101,647
	増減	△ 12,768	1,189	4,389	2,192	8,260	2,578	120	2,101	2,791	959	6,463	1,396	19,670

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分			7 年度	6 年度	増 減
収入	事業収入	施設使用料	121,318	101,647	19,671
		イベント収入	546	584	△ 38
		小 計	121,864	102,231	19,633
	事業外収入	県委託料	136,693	145,772	△ 9,079
		米子市委託料	68,347	72,886	△ 4,539
		雑収入	12,410	11,990	420
		小 計	217,450	230,648	△ 13,198
	地域振興事業基金から繰入		1,600	1,500	100
	計		340,914	334,379	6,535
支出	人 件 費		130,527	119,625	10,902
	管理運営費		207,892	212,373	△ 4,481
	事 業 費		2,495	2,381	114
	計		340,914	334,379	6,535
収 支 差 額			0	0	

6 労働条件等

確認項目		状況			備考
		常勤正職員	常勤任期付職員	非常勤職員	
雇用契約・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、雇用契約書	有期契約職員就業規則、雇用契約書	有期契約職員就業規則、雇用契約書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働者を起床する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	3 6 協定	3 6 協定	—	※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	1 6 0 時間／4 週	1 6 0 時間／月	1 3 6 時間／月	※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	タイムカード	タイムカード	タイムカード	※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	休暇：年20日、特別休暇 休日：4週8休、祝日の振替、 年末年始	休暇：年20日、特別休暇 休日：4週8休、祝日の振替、年末 年始	休暇：6か月間継続勤務の場合 10日、特別休暇（無給） 休日：4週11～12休	※幅がある場合は上限、下限を記入
給与	給与金額	3 4 3 千円／月	3 4 2 千円／月	1 7 4 千円／月	※平均月額を記入 非常勤(事故による労働日数減)
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	処遇改善計画との比較	98%	89%	90%	※達成率を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年 1 回実施			
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：		※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：館長		※業種・規模の要件あり

(参考)

○労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法に基づくもの）

- ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
- ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
- ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
- ・1週間単位の変形的変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
- ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「3 6 協定」）
- ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要）
- ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
		3,001人以上（6人選任）
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
利用者サービス	・主催者アンケート（意見、要望・苦情 等72件）、利用者懇談会開催、催事開催後の意見聴取を実施し、利用者からの意見や要望に対し改善を図った。 ・イベント情報を広く外部へ発信した。（HP・公式SNS【X・Instagram】中海テレビ「生活チャンネル」等） ・センター公式ウェブサイトにてグーグルストリートビューやPR動画を掲載し、施設を視覚的にわかりやすく案内した。 ・オンラインやハイブリッド開催といったコンベンション開催形態の多様化や利用者ニーズに対応するため、安定した通信環境の提供や職員の対応力強化に務め、大規模な全国大会や学会から小規模なオンライン会議、市民文化活動の発表まで技術サポートに取り組んだ。 ・新規利用催事及び長期利用者を対象に「にぎわい創出支援事業助成金」を交付し、交流人口の増加に繋がる利用促進を図った。（新規にぎわい6件・1,246千円、長期 7件・570千円） ・とっとり施設予約サービスにより、24時間インターネット申込み受付、オンライン決済を可能としている他、窓口でのキャッシュレス決済を可能としている。 ・利用者から要望の多い、施設の仮予約の機能を備えた予約システム「ビッグシップ施設予約ナビ」を構築し、センター公式ウェブサイト上で仮予約～本申込みの手続き、請求書・許可通知書等のダウンロードをオンラインで可能とし、利用者の利便性向上を図った。 ・1階にビジネスコーナーを設置し、プリンター付きパソコンやコピー・FAX複合機の有料開放による利用者等の利便性向上を図った。 ・県内外から訪れる来館者に向け、観光・物産・伝統工芸等の地域情報を紹介する「ブラリズム地域情報コーナー」を設置・運営した。 ・ハートフル駐車場・車いす専用駐車場について、駐車スペースの舗装面に着色を行い、対象駐車区画の視認性を向上させ、必要とする方が安心して利用できる環境の整備を図った。
サービスプラン及び練習プランの運用	・小ホールピアノセットプラン（利用実績20件） ・インターネット回線「専有接続」サービス（利用実績18件） ・多目的ホール楽得展示パック（利用実績15件） ・国際会議室レイアウト設営サービス（利用実績52件） ・ごみ回収サービス（利用実績51件） ・大会運営用貸出サービス（利用実績10件） ・看板作成サービス（利用実績12件） ・その他のプラン（利用実績14件）
施設・設備に関すること	・雨漏り発生時に、発生箇所の修繕に加え、将来的に雨漏りが発生する可能性のある箇所についても対象範囲を拡大して修繕を実施し、予防保全の強化を図った。 ・設備保守点検を徹底するとともに、点検結果に基づく予防修繕を積極的に実施し、設備故障によるトラブルの未然防止に努めた。あわせて、中長期保全計画に基づき、適切な設備改修を鳥取県へ提案し、設備の適正な保全に取り組んだ。 ・施設の空調に係る電気代削減を利用者の快適性を保ちながら効率的に行うため、省エネAIによる監視制御プログラムを開発導入し、令和7年度暖房時期のテスト稼働で18%～27%の削減となった。（令和8年度の冷房時期までテスト稼働を行った上で、本稼働を開始予定）
安全に関すること	・アクションカードを活用した実践形式に近いシナリオ非提示型の地震・火災避難誘導訓練を年2回実施し、災害時初動対応の強化を図った。防火シャッターの作動、利用者役の配置、火元からの煙の発生等、実際の災害発生時を想定した訓練を実施し、災害時の対応力向上に努めた。（入居団体、常駐委託業者も参加） ・1月6日発生 of 島根県東部を震源とする地震（震度5弱）において、アクションカードによる避難誘導訓練で実施してきた対応を適切に実行することができた。 ・避難訓練実施日において、AED心肺蘇生・救命救急講習を全職員が受講した。 ・停電対応用のアクションカードを活用し、夜間少人数時を想定とした訓練を実施し、緊急時対応能力の向上に努めた。 ・警備員の日常巡回を施設内と併せて外回りも実施し、敷地内に限らず周辺環境の安全管理を強化した。
人材育成に関すること	・実務に応じた各種研修会等への参加機会を設け、専門技能・コーディネート力の向上や安全管理・会計知識の研鑽等、職員の能力開発や資格取得支援に取り組んだ。（全国展示場連絡協議会、全国公立文化施設協議会アートマネジメント、地域創造ステージラボ、舞台技術研修、舞台機構調整技能士検定、照明技術者認定試験、あいサポーター研修 ほか） ・人権研修の受講、コンプライアンス研修を実施した。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	館内のアンケートボックス（QRコード）や利用終了後のチェックシートによる意見収集の他、鍵返却時に直接職員による聞き取りを実施。また、利用者懇談会において施設・設備及び運営に関する具体的な意見・要望把握の機会を設けるなどし、利用者の意見要望把握を行った。
------------	--

利用者からの苦情・要望	対 応 状 況
●利用について	
施設利用料の前払いが利用後にならないか	施設料は事前のお支払いをお願いしている旨説明し、ご理解いただいた。
申込方法は、やや面倒(紙)。クレジットカードが使えるのは良い	現在はWebからの申込みも可能となっている旨説明し、当館のホームページを参照いただくよう案内した。
タクシーを呼ぶ業者の一覧が欲しい(ホール主催者)	多目的ホール楽屋、小ホール楽屋、国際会議室スタッフルームへタクシー会社の連絡先一覧を掲示することとした。
申込はwebからは複雑だった。電話に切り替えたらとても簡単だった。	「とっとり施設予約サービス」の利用者登録については、本人確認等手続きがやや複雑となることを説明。登録方法を説明するとともに窓口での対応も可能である旨ご案内した。
●設備・施設について	
駐車券割引認証機を会場前に貸出しできるとよい	以前は各部屋に設置していたがお客様により破損が生じ、交換が高額であるため受付に設置することになった経緯を説明した
3階廊下つきあたりのガラスがまぶしすぎる。ロールスクリーンがあればよい	改修を検討したところ、構造上ブラインドやロールスクリーンの取り付けが難しいため、利用者からの要望があればパネル設置で対応することとした。
Wi-Fiが不安定な時間帯があった。 ※無料の共有回線を利用	全館共用のベストエフォート型回線であり、速度や品質を保証するものではなく、他会場の利用状況や接続時間帯によって繋がりにくい場合があることを説明。
HDMIの長いタイプが反応しなかった	HDMIケーブルは、長尺のものでは信号が弱まりやすく、また接続機器との相性によって映像が映らない場合があるため長短2種類のケーブルを用意していることを説明。今後、映像設備の更新も検討していることを説明した。
午前中普通に使用していたが、途中でワイヤレスマイク・タイピン型ともに途切れる時間があった	ご迷惑おかけしたことを謝罪。機器の経年劣化が原因である可能性があるため、早急に応急処置を施し、現在は復旧済み。
共有スペース（会議室外）が日当たりが良すぎてとても暑かったです。	ご不便おかけしたことを謝罪。ガラス張りであるため時間帯によっては空調が効きづらい場合がある旨説明。夏場以外でも日差しが強い日には、共用部の温度に注意するよう職員へ周知した。
会議室の入口ドアがゴトゴトと音がする	吹き抜け構造のため強風の際は入口からの風の影響を受けやすいことから一斉確認を行い、扉の隙間を埋め、改善を行った。

利用者からの積極的な評価
○職員への高評価（全14件） ・ 職員の対応がとても良かった（多数） ・ とても親切で分かりやすく説明してくださり心から感謝。どんな時もすぐに対応してくださったことにも感謝しています。 ・ 準備の段階から最後までとても親切にいただいた。 ・ 初めて利用させてもらい、丁寧な対応をありがとうございました ・ 職員の皆さんに助けていただき感謝 ○施設、設備、清掃等への高評価（全23件） ・ いつも快適に使わせていただいてありがとうございます。（多数） ・ とても快適な施設で必要なものもそろっていてとても気に入った。また使いたい。 ・ 清掃など大変行き届いており気持ちよく使用させていただいた。 ・ 施設備品が非常に整っているため主催者側での準備が殆ど不要であり大変利用し易く助かった。 ・ 朝の20分前のカギ出しは非常に助かる。 ・ 片付ける時に机の位置などわかりやすくするように壁にシールが貼ってあったのが良かった。 ・ ハイブリッドの会議ができるようになって便利になった・PJも移動するタイプでなくなったので大変便利になった。 ・ 久しぶりの利用でしたがプロジェクターとスクリーンが簡単に使用できよかった。

9 指定管理者による自己点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☒
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☒

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕							
①安心・安全・快適な施設運営サービスの提供 《利用者の声を踏まえた改善》 ・会議室の音響設備が老朽化していたが、すべての会議室の音響システムをフルリニューアルし、要望が多かったマイク出力を使ったオンライン会議・ハイブリッド会議への対応を可能とした。 ・プロジェクターが暗い、スクリーンが曲がっているなどの声が多かったため、すべての会議室の映像設備を最新のものに更新し、お客様の利便性向上を図った。 ・オンライン予約については「県立とっとり施設予約サービス」が複数施設での汎用性を重視しているため、当センターで圧倒的に多い仮予約に対応しておらず、利用者から要望が多かった施設の仮予約の機能を備えた予約システム「ビッグシップ施設予約ナビ」を新たに構築した。公式ウェブサイト上で仮予約～本申込みの手続きや請求書・許可通知書等のダウンロードを可能とし、利用者の利便性向上を図るとともに、事務経費、労力の削減も図った。 《危機管理》 ・アクションカードを活用した実践形式に近いシナリオ非提示型の地震・火災避難誘導訓練を年2回実施し、災害時初動対応の強化を図った。また、防火シャッターの作動、利用者役の配置、さらに火元からの煙の発生等、実際の災害発生時を想定した臨場感のある訓練を実施し、災害時の対応力向上に努めた。（入居団体、常駐委託業者も参加） ・1月6日発生の島根県東部を震源とする地震（震度5弱）において、アクションカードによる避難誘導訓練で実施してきた対応を適切に実行し、利用者を安全に避難誘導することができた。 ・避難訓練実施日において、AED心肺蘇生・救命救急講習を全職員が受講した。 ・停電対応用のアクションカードを活用し、夜間少人数時を想定とした訓練を実施し、緊急時対応能力の向上に努めた。 ・警備員の日常巡回を施設内と併せて外回りも実施し、敷地内に限らず周辺環境の安全管理を強化した。 《維持管理》 ・雨漏り発生時に、発生箇所の修繕に加え、将来的に雨漏りが発生する可能性のある箇所についても対象範囲を拡大して修繕を実施し、予防保全の強化を図った。 ・設備保守点検を徹底するとともに、点検結果に基づく予防修繕を積極的に実施し、設備故障によるトラブルの未然防止に努めた。あわせて、中長期保全計画に基づき、適切な設備改修を鳥取県へ提案し、設備の適正な保全に取り組んだ。 ・施設の空調に係る電気代削減を利用者の快適性を保ちながら効率的に行うため、省エネAIによる監視制御プログラムを開発導入し、令和7年度の暖房時期に行ったテスト稼働で18%～27%の削減となった。令和8年度の冷房時期までテスト稼働し、削減効果の精度向上および通年で有効性検証を行った上で、本稼働を開始する予定としている。 ・ハートフル駐車場・車いす専用駐車場について、駐車スペースの舗装面に着色を行い、対象駐車区画の視認性を向上させ、必要とする方が安心して利用できる環境の整備を図った。 ・清掃委託業者と情報を共有し、意思疎通を図ることできめ細やかな清掃を実施し、利用者から常に清潔な環境が維持できている点を評価いただけた。 ・就労支援継続事業所に芝散水業務、落ち葉清掃業務を発注し、障がい者の施設外就労による社会参加の促進に寄与した。							
②利用者サービスの向上に向けた取組み ・アンケート調査を実施し、利用者からの意見や要望・苦情（72件）に対し改善を図った。また利用者懇談会を実施（6団体参加）し、今後のより良い会館運営のために利用者との意見交換を実施した。 【アンケート集計結果】 <table><tr><td>職員について（良い）</td><td>86.5%</td></tr><tr><td>施設について（満足）</td><td>86.7%</td></tr><tr><td>清掃について（良い）</td><td>86.7%</td></tr></table> ・ほぼ全館に整備されたフリーWi-Fi環境を維持し、オンライン開催における利用者の利便性向上に寄与した。 ・オンライン、ハイブリッド会議の需要に対応したインターネット回線「専有接続」サービス（利用実績18件、332千円）や国際会議室レイアウト設営サービス（利用実績52件 1,640千円）など各種ワンストップサービスプランを提供した。 ・1階のビジネスコーナーにおいて、プリンター付きパソコンや複合機の有料開放による利用者等の利便性向上を図った。 ・催事内容に応じて、開館時間外での準備、撤収にも柔軟に対応できるようにした。 ・広報紙「イベントガイド」の表紙に代表的な催事を掲載して紹介する「ピックアップイベントコーナー」を設け、当センターで開催される催事の広報を図った。（毎月3,000部発行、公共施設・近隣企業等を中心に配布）また、地元ケーブルテレビの文字放送番組や広報誌等において催事情報を発信した。 ・公式SNS（X、Instagram）では、事業情報や緊急速報などタイムリー且つ若年層を含めた広範囲に渡る情報発信の強化を図った。 ・減免制度の対象となる催事利用者に積極的に制度のお知らせをし、適切に減免料金の適用を行った（令和7年度減免適用件数258件、減免額8,348千円） 《施設の利用促進》 ・催事終了後に主催者への電話等によるフォローを実施し、現状や再利用への課題等の聞き取りに努めるとともに、新規営業活動等を行った。また、関西、首都圏の企業等への営業活動も行った。（営業件数54件） ・地域振興事業基金を活用し、より多くの来場者が期待でき、周辺への波及効果が高い展示会、イベント等の新規開催と継続利用を後押しする「にぎわい創出支援事業助成金制度」を運用し、多目的ホール、国際会議室の利用促進を図った。（新規にぎわい助成金6件・1,246千円、長期利用助成金7件・570千円） 《施設見学等の受け入れ》 ・地域の方々に当センターを身近に感じていただくため、バリアフリー設備を見学するコースを整備し、近隣小学校の校外学習として、バリアフリー見学の受け入れを行った。（就将小学校5年生62名、義方小学校2年生63名参加） ・保守点検日を活用して、普段見ることができない舞台裏や、客席から平土間への転換見学など「大人の社会科見学ツアー」として実施した。（公募による一般参加者15名）		職員について（良い）	86.5%	施設について（満足）	86.7%	清掃について（良い）	86.7%
職員について（良い）	86.5%						
施設について（満足）	86.7%						
清掃について（良い）	86.7%						

③地域の賑わい創出の取り組み ・地域経済活性化や賑わい創出を図るため各種自主事業を実施した。特に第10回目の開催となるビッグシップ航海デー「SUN-INハンドメイドフェスタ2025」は、山陰地域で最大規模の手作り作品のマーケットを中心に、記念トークイベントやダンス公開オーディション等を併催し、県内外から約6,000人と過去最高の来場者数となり、米子駅前周辺の活性化に寄与できた。 ・「ビッグシップアートクルーズ」として、県内外で活躍する地域ゆかりのアーティストらが様々なコラボレーションをするサロンコンサート等を年2回企画実施し、アーティストと地域住民の出会いの場を創出した。 - i「声と弦が奏でる豊かな音の世界」ii「ブラスとピアノのジャズナイト」 ・米子市文化財団と連携し、米子市音楽祭「GAINA JAM」を実施した。「GAINA JAM」は、平土間エリアに飲食ブース等を併設するなど、当センターの特性を活かした企画で、第2回目となる本年も1,000人を超える参加規模となった。多数の有名アーティストが公演を行ってきた「コンベンションセンターのステージに立てる」演奏者の視点と音楽祭を気軽に楽しむことができる鑑賞者の視点の両面で、音楽を通じて地域文化の活性化を図り、幅広い年齢層への参加拡大と賑わい創出に繋げることができた。 ・地元行政や様々な団体等が参画する「農と食のフェスタin西部」や「よなご公共交通ふれあいフェスタ」等の開催に協力し、玄関前広場の活用や催事サポートを通じて交流人口の増大を図った。 ・YONAGOヒカリ☆マチプロジェクトへ参画し、期間中当センターをライトアップし、米子城を中心とした米子駅前周辺の夜間の賑わい創出に協力した。
④収入確保と経費の削減 令和7年度の施設全体の稼働率は76.3%と非常に好調な実績となり、利用料収入は目標額を大きく上回る121,317千円（R7年度目標額：100,000千円）となった。経費については、施設の高稼働や光熱費の高騰が続く中、館内温度管理の徹底や夜間利用のない日の閉館等による節減を行うとともに、節減分を活用した予防修繕・美観保全への充当を行い、支出総額は340,914千円（当初計画344,116千円）となり、収支差額から指定管理料24,811千円（県16,541千円、米子市8,270千円）を返還することができた。
⑤業務の平準化推進と効率的な職員配置 ・夜間利用のない日の閉館や、催事内容・時間に合わせたフレキシブルな勤務体制（月間変形労働制）を活用し、効率的な人員配置で最大限なサービスの提供に努力した。 ・施設利用担当職員と舞台技術担当職員の業務平準化を継続推進した。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
①現在苦慮している事項 ・開館28年となり、経年劣化による雨漏り箇所が増え、対処が必要となっている。休館せずに実施する改修工事の利用者との調整に苦慮している（大がかりな足場設置、騒音、臭気等） ・公共施設としての公平性確立と減免対応 ・若手職員の確保と育成（指定管理期間が5年と短く、特に若年層の技術職員採用と経験年数を要する育成が課題。） ②今後改善、工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項 ・利用施設ごとの入退室、清掃、備品準備等の進行状況を管理するシステム等の構築による利用者サービスの向上と窓口業務の効率化 ・地域の賑わい創出のための地域連携事業の推進 ・業務平準化の推進と3ホール同時稼働繁忙期の舞台技術職員の配置の見直し及び外部委託業者の確保 ・若手技術職員の育成と技術継承。（各種資格取得推奨、実務講習会、OJTの推進）

10 施設所管課による業務点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☒
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☒

項 目	評 価	点 検 結 果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○老朽化した会議室の音響システムのフルリニューアルの際に、利用者から要望が多かったマイク出力を使ったオンライン会議、ハイブリット会議への対応が可能なものに変更し、利用者の利便性向上を図った。 ○ハートフル駐車場、車いす専用駐車場について、駐車スペースの舗装面に着色を行うことで利用者が安心して利用できる環境の整備を図った。 ○空調に係る電気代削減に関して、省エネAIによる監視制御プログラムを開発導入し、暖房時期のテスト稼働で18%～27%削減した。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○利用許可等の運用について適正に実施されている。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○利用者の要望に応え、オンラインでの仮予約に対応した「ビッグシップ施設予約ナビ」を新たに構築したことで利用者の利便性の向上を図った。 ○1階にビジネスコーナーを設置し、プリンター付きパソコンやコピー・FAX複合機の有料開放による利用者等の利便性向上を図った。
〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○主催者アンケート、利用者懇談会、意見聴取等により積極的に利用者の意見反映に努めている。 ○SNSを利用し、より広く広報を行うとともに県外への営業活動も積極的に行い、施設利用の促進に取り組んだ。 ○小学校や一般向けに施設見学等の受け入れを行い、地域住民にも施設を身近に感じてもらえるような取り組みを行った。
〔活性化事業の実施状況〕 ○実施内容	4	○第10回目の開催となる「SUN-INハンドメイドフェスタ2025」では、山陰地域最大規模の手作り作品のマーケットを中心に複数の企画を行ったことで、県内外から過去最大(約6000人)の来場者があり、駅前周辺の賑わいを創出した。 ○ビッグシップアートクルーズを年2回実施し、地域ゆかりのアーティストと地域住民の交流の場として文化振興に貢献した。 ○第2回目となった「GAINA JAM」も1,000人を超える参加規模となり、施設の特性を生かした運用で地域文化の活性化を図った。 ○「農と食のフェスタin西部」や「よなご公共交通ふれあいフェスタ」への参画 ○YONAGOヒカリ☆マチプロジェクトへ参画
〔収入支出の状況〕	4	○利用料収入は目標額を大きく上回った。また、施設の高稼働や光熱費の高騰が続く中、省エネAIの導入による館内温度管理の徹底や夜間利用のない日の閉館等による経費削減に努め、安定的な収支決算を維持した。
〔職員の配置〕 ○適正な職員配置 ○処遇改善計画の達成状況	4	○夜間利用のない日の閉館開始や、催事内容・時間に合わせたフレキシブルな勤務体制を活用することで効率的な人員配置を行った。
〔会計事務の状況〕 ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 （利用券、利用券管理簿の管理など） ○必要な規程類の整備 （会計規程、協定書等で整備が定められている規程など）	3	○適切に実施されている
〔関係法令の遵守状況〕 ○関係法令に係る行政指導等の有無等 ・労働関係法令 （労働基準、労働安全、障がい者雇用等） ・環境関連法令 （大気、水質、振動、廃棄物等） ・その他の法令 ○県内発注（鳥取県産業振興条例）	3	○適切に実施されている
〔県の施策への協力〕 ○障がい者就労施設への発注	4	○芝散水業務や落ち葉清掃業務等、就労支援施設への発注に努めた。

総括	3.7	新たに、システムで仮予約から行える「ビックシップ施設予約ナビ」を構築し、利用者の利便性の向上を図った。また、省エネAIによる監視制御プログラム開発導入により暖房期は使用電力を18%～27%削減するなど、独自に利用者のニーズに合わせたサービスの提供や効率的な施設運営に取り組んでいる。
----	-----	---

《評価指標》5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

- 4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
- 3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
- 2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
- 1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。

※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。